

第30回「六甲山の災害展」開催結果報告

人と防災未来センターで、8月11日から23日(月曜休館・12日間)
開催した「六甲山の災害展(第30回)」実施状況について

【災害展開催状況】

主催：県（治山課・砂防課・神戸土木・六甲治山）、神戸市、国交省 六甲砂防事務所
協力：(一社)兵庫県治山林道協会、RR併用工法研究会、山地災害情報協力員、
兵庫県砂防ボランティア協会、ひょうご地域防災サポート隊、国土防災技術（株）

① 周辺施設等への広報

ア テレビ・新聞報道

8月11日放送/サンテレビ/<https://www.sun-tv.co.jp/suntvnews/news/2026/08/11/96161/>
読売新聞/8月17日朝刊、神戸新聞/8月18日朝刊

イ 県・市・教育委員会など、広報誌・WEBなどによる広報

県民だよりひょうご8月号、県・市による記者発表、「ツムギノ」(市立幼稚園、小・中学校、高校、特別支援学校保護者、教職員向け配信アプリ対象者10万人)による情報発信、阪神間各市町教育委員会アプリ配信等、事務所HP、三宮センター街大型スクリーンによる動画配信など

ウ ポスター設置

神戸市立渚小学校・渚中学校・市役所、アイススケート場、会場近隣の家電量販店、県庁前地下鉄ショーウィンドウ展示ほか



② 入場者数（8月23日/12日間）

2,248人

③ 事務所開設HP媒体によるアクセス数(8月23日/12日間)

事務所HP：1,197回、Facebook：62,348回、Instagram：3,105回

④ 本年開催の特色

- ・「先人の偉業を伝える」と「楽しむ・遊ぶ・体験」をテーマに明治から昭和期にかけて手作業で進められた、六甲山の再生や治山・砂防事業の歩みを紹介
- ・自作VRゴーグルにより、治山ダムなどの施設を疑似見学
- ・パネル展示内容の映像化（写真説明の簡素化）
- ・インスタントカメラによる、来場者への写真撮影サービス

⑤ 来場者の声（来場者アンケートより）

- ・六甲山が長い年月をかけて再生されてきたことに驚いた
- ・治山・砂防施設の重要性がよく分かった
- ・子どもにも分かりやすい展示だった
- ・防災について改めて考えるきっかけになった

【県庁前地下鉄ポスター設置、
三宮センター街大型スクリーン動画配信】

